



JIS K 5970 建物用床塗料 上塗り
認証番号 JP0508057
ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

JOA-2631 (合成樹脂塗料)
JOA-EM3548 (本社工場)

浸透性エポキシ樹脂系コンクリート・モルタル強化材

ボウジンテックス プロテクター

ボウジンテックスプロテクターは優れた浸透力をもつエポキシ樹脂を主成分としたモルタル・コンクリートの補強材です。床面に塗付するだけでモルタル・コンクリートに浸透し、表面を強化します。

用途

- 工場・倉庫など強靱な耐久性・耐摩耗性の必要な床
- コンクリートの地肌を生かした、売場・店舗

特長

- 表面補強
脆くなったモルタル・コンクリート面を補強し、風化・劣化を防ぎます。
- 優れた耐摩耗性
無処理のモルタルの約15倍以上（表面硬度 H）
- 優れた作業性
モルタル・コンクリートに塗付するだけで十分なほこり止め（防塵）効果があります。

塗膜性能

試験項目	試験方法	結果
引っかき硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	H
耐摩耗性 (摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪 CS-17荷重500g×2・1000回転	40mg
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水道水に1ヶ月間浸せき	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐温水性	50℃温水に48時間浸せき	異常なし



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151
東京・北関東・中部・大阪・高松・広島・福岡・北海道

ボウジンテックス プロテクター

標準仕様

工程	塗料名	希釈割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず小面積でテスト塗装を行い、ボウジンテックスプロテクターが含浸する事を確認してから全面塗装をする。 含浸が不十分な場合はポリッシャー等で目荒しを行う。（目荒しの傷が残ることがあります。） 既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、十分乾燥させる。							
上塗り	ボウジンテックス プロテクター 主剤 硬化剤 ボウジンテックス #2000シンナー	8kg 8kg 0~2L	ハケ ローラー	2~3	0.12~0.16	50~67 (2回塗り)	60分以内	3h以上

	可使時間	歩行可能時間	上塗り完全硬化
23℃	60分以内	16時間以上	2日以上

塗装方法

ハケ・ローラー

荷姿

ボウジンテックスプロテクター 16kgセット（主剤8kg 硬化剤8kg）
ボウジンテックス#2000シンナー 16L・4L

注意事項

【仕様全般】

- 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良をおこすことがありますので施工を避けてください。
- モルタル・コンクリート養生後、多量の水がこぼれた箇所は1週間程十分に乾燥させてください。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には十分注意してください。
- 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- 静電気をさらう床には塗装しないでください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質（VOC等）に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
- 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛ける事がありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意】

- 塗装面に塗料溜まりやマジック跡等があるとクリアー塗装した際、表面に浮き出てきたり、目立ちますので丁寧に除去してください。
- 下地の吸い込みムラにより仕上がり面に濡れ色の濃淡が生じることがあります。
- クラック処理については通常エポキシパテで行いますが、クリアー仕上げのため、塗装後、目立つこととなりますので、事前に打ち合わせのうえ行ってください。
- ボウジンテックスプロテクターは、樹脂の特性により、紫外線で褐色に変色します。そのため、直射日光が当たる場合は注意してください。
- 使用前には十分攪拌してください。
- 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は十分に気をつけてください。
- 2液硬化型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で十分攪拌してください。
- 2液硬化型の塗料は、塗料毎の可使時間内に塗装してください。
- 2液塗料は気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- 小分けする場合は、十分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
- 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーを使用してください。
- 主剤と硬化剤は別々に密栓し、冷暗所に保管してください。又、開栓後は早目に使い切ってください。
- 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151
東京・北関東・中部・大阪・高松・広島・福岡・北海道

